

こ う き よ う こ う つ う え ん せ ん

公共交通沿線地区

(富山県富山市)

- 計 画 期 間 平成 30 年度～令和 4 年度
- 面 積 3,511 h a
- 交付対象事業費 3,034.1 百万円
- 市人口 410,214 人

ポイント

公共交通を軸としたコンパクト・
プラス・ネットワークのまちづくりの
推進を図る。

地区概要

公共交通沿線の居住人口増加、公共交通利用者の増加を図るため、宅地開発の促進や、居住誘導を支援するとともに、その他の公共交通沿線地区においても居住や必要な都市機能の誘導を図る。

目標

公共交通沿線地区への居住推進、公共交通の活性化、地域拠点の活性化

指標

公共交通を軸としたまちづくりを推進するために「公共交通沿線地区への居住推進」、「公共交通の活性化」、「公共交通沿線地区の商業店舗から徒歩圏に居住する人口の割合」を指標に設定した。

公共交通が便利な地域に住む市民の割合 (%)	37.1%(H29) → 40.4%(R4)
公共交通 1 日平均利用者数の富山市人口当たりの割合 (%)	15.2%(H29) → 15.6%(R4)
公共交通沿線地区の商業店舗から徒歩圏に居住する人口の割合 (%)	96.8%(H29) → 96.8%(R4)

事業内容

基幹事業 (2,366.4 百万円)

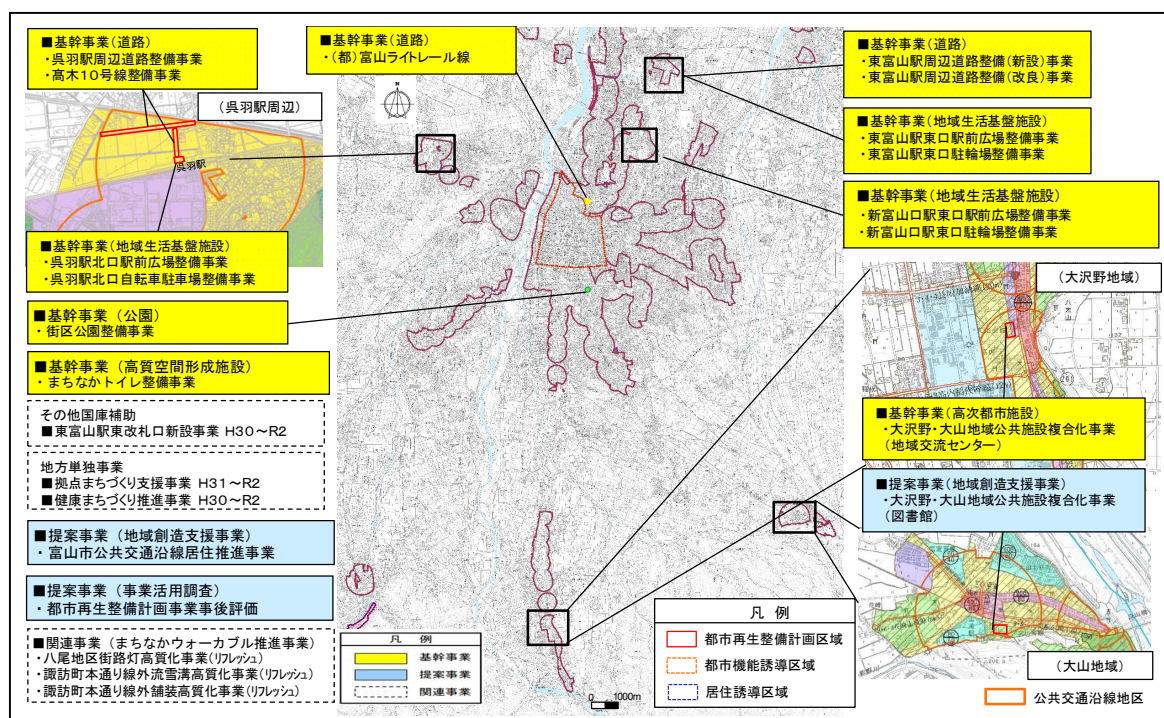
- ・東富山駅東口周辺道路整備事業、高木１０号線整備事業、（都）富山ライトレール線、街区公園整備事業、東富山駅東口駅前広場整備事業、富山・東富山駅間新駅東口駅前広場整備事業、まちなかトイレ整備事業、大沢野・大山地域公共施設複合化事業等

提案事業（525.9 百万円）

- ・公共交通沿線居住推進事業、大沢野・地域公共施設複合化事業等

まちなかウォーカブル推進事業（141.8 百万円）

- ・諏訪町本通り線外舗装高質化事業、八尾地区街灯高質化事業等



地区の現況と課題

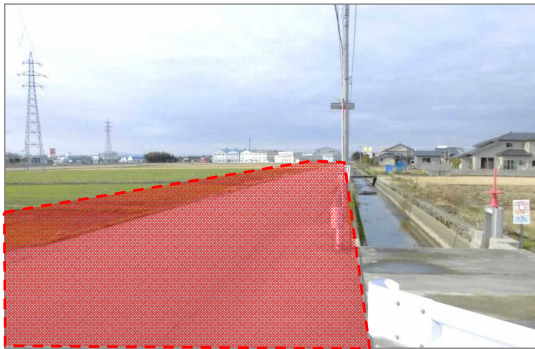
本市は、モータリゼーションや商業施設、住宅、業務施設等の都市機能の郊外化（拡散）が進展した結果、公共交通沿線地区の人口の減少、少子高齢化の進展などの人口問題、小売販売額及び小売店舗数の減少などの地域商業の問題、公共交通の運行本数減少などの公共交通サービス水準の問題等が複合的に影響しあい、地域活力の低下に歯止めがかからない状態となった。

このような状況を受け、3本柱の施策として、「公共交通の活性化」、「公共交通沿線地区への居住推進」、「地域拠点（中心市街地を含む）の活性化」に取り組むことで、公共交通を軸としたコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりの推進を目指す。

計画策定プロセス

庁内検討の実施

社会資本整備総合交付金を活用した事業を実施している企画管理・商工労働・農林水産・都市整備・建設・教育部局等による庁内検討を実施し、現行計画の効果等を把握すると共に、次期計画の策定に向けた意見集約を実施している。



高木 10 号線整備 イメージ



街区公園整備 イメージ



東富山駅東口駅前広場



富山・東富山駅新駅東口駅前広場



大沢野地域公共施設複合化事業 イメージ図



大山地域公共施設複合化事業 イメージ図